



2001年02月06日

フォルクスワーゲン 1月の登録台数過去最高を記録 対前年比30%の増加

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社 (略称:VGJ、代表取締役:梅野 勉、本社:愛知県豊橋市) がまとめた登録台数によると、VW専売店網のスタートとなる記念すべき2001年1月のフォルクスワーゲン ブランドの登録台数は、対前年比30%増の3,829台で、1月度として同社の過去最高を記録しました。

純輸入車市場全体が対前年比 4%増であるのに対し、フォルクスワーゲンは対前年比 30%増と大幅な伸びを記録し、輸入車NO.1の座を堅持すると共に年間販売台数62,000台に向けて好調な滑り出しとなりました。

1月度の好調な原因として、フォルクスワーゲン専売店開始に当たり、年初から積極的な販売活動を展開し、ディーラー独自のフェアや全国的なサンクスフェアを実施すると共に、全モデル1%の低金利キャンペーンの実施により新規受注を多く集められた点が上げられます。

モデルとしては1999年9月に新規導入したニュービートルや、2000年2月にフルモデルチェンジを行ったゴルフ ワゴン、そして同年5月に発表し2001 RJCカーオブザイヤー＝インポートに輝いた新型ポロが引き続き好調に売れ行きを伸ばしています。

特にニュービートルに関しては、低金利ローン (今回は1%) の対象として、発売以来今回始めて適用された結果、大幅な販売台数増に貢献し、フォルクスワーゲン全体に占める割合でもゴルフ シリーズに次ぐ台数を記録しました。

フォルクスワーゲンでは、昨年11月から開始した一連のブランドキャンペーンによってブランドの変革をアピールするとともに、更なるプレミアム シフトを狙う新型パサートの導入等によってモデルレンジの拡大を図り、2年度連続での輸入車年間登録台数NO.1を目指します。